

瑞穂市社協だより



社会福祉法人
瑞穂市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

あい♡愛

No. 125

2024.4(R6)

<今月の表紙>

知って備える「災害ボランティアセンター」 設置・運営訓練を実施

瑞穂市で災害が起き、ボランティアによる支援が必要になる時に備えて、訓練を実施しました。

(関連ページ 2～3ページ)



暮らしを再建するための「災害ボランティアセンター」 設置・運営訓練を実施

(関連ページ 表紙)

災害ボランティアセンターは、被災者や被災地域の力だけでは復旧・復興活動が難しい時に、市内外のボランティアの力を借り、復旧・復興を目指すために設置されます。ボランティアと支援を必要とする人をつなぐことにより、被災者の暮らしの再建を支援するための窓口です。

瑞穂市では、本会が災害ボランティアセンターの設置・運営を行うことになっています。必要としている人にもれなく支援を届けるためには、職員だけの力では行き届きません。地域の皆さんの力が必要です。

そこで、本会では被災者と災害ボランティアをつなぐ「災害ボランティアコーディネーター」の育成に取り組んでいます。今回の訓練は、災害ボランティアコーディネーターの皆さんと職員と一緒に運営し、多くの住民のかたがボランティア役としてご参加くださいました。

12月に支援協定を締結した岐阜西ライオンズクラブさんにも、ご協力いただきました！

訓練の様子

① ボランティア受付

注意事項などの説明をし、受付をします。



③ 資機材の貸出

活動に必要な資機材を貸出します。



④ ボランティア活動



⑤ 活動報告

活動内容や気づき、継続の必要性などを報告し、終了です。



② 活動調整

あらかじめ受付した依頼内容を基に活動先を決め、グループごとに活動内容の詳細を確認します。



<参加者の感想より>

- ・一番は他人ごとではなく、自分事として考えること。
- ・机上の勉強も大切だが、経験はより大切だと感じた。
- ・繰り返し訓練することが大切。
- ・問題点を実感でき、大切な訓練であることを知った。
- ・より多くの世代のかたの参加が必要であると感じた。
- ・土地勘のある人が必要。



災害ボランティアの活動は、単に作業のお手伝いをするだけではありません。力自慢の人も必要ですが、体力には自信がなくても被災者の声に耳を傾けることができる人や、細やかなお手伝いができる人も必要です。被災者の気持ちに寄り添った災害ボランティアセンターの運営ができるよう、訓練を重ねて備えていきます。



レスキューストックヤード代表理事の栗田 暢之氏に、ご助言をいただきながら実施しました。

災害による被害を減らすための備え、発災時に命を守るための備え、避難生活のことなど、災害への備えには様々なことがあります。

それらに加えて、被災後、**暮らしを再建するための備え**として、ぜひ、災害ボランティアセンターのことを覚えておいてください。

収集ボランティアにご協力ありがとうございました。

本会では、使用済み切手を集めています。住民のかたや学校、企業などのご協力により、多くの使用済み切手が集まっています。

令和5年1月から令和6年2月に集まった使用済み切手 4,623g

『認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会』、『公益社団法人日本キリスト教海外医療協会』に送付しました。以下のように役立てられます。

例えば… 使用済み切手約1kgで

- ・ポリオワクチン75人分を、途上国の子どもたちに届けることができます。
- ・タンザニアの看護学生1人分の、1年分の教科書代になります。



* 使用済み切手の収集方法 *

・消印の日付と地名が残るよう、切手周辺を1cm程度残して、封筒ごと切ってください。

※封筒の裏側は、取り除いてください。

・日本の切手と外国の切手を分けてください。



ボランティア登録者数 <<R6. 3. 1現在>>

団体	89団体	1,151名
個人		89名
災害ボランティア		36名
合計		1,276名

瑞穂市ボランティアセンター

TEL 327-8610
メール chiiki@mizuho-shakyo.org

地域に広がる 支え合い活動

昨今、家族形態やライフスタイルの変化、価値観の多様化等により、地域でのつながりが希薄化、専門職では解決できないこと、制度の狭間に陥ること等、既存の制度では解決できない問題も浮き本市では、市全域と5つの小学校区で話し合いの場（協議体）が設置されています。各協議体の令

し、様々な人が孤独を抱えています。上がり、住民同士の支え合い・助け合い活動の必要性が、強く求められるようになりました。和5年度の取組みについて、紹介します。

市全域

小学校区ごとの支え合い活動の進捗状況や、活動するうえでの課題や悩みなどを共有する場として、「支え合いのまちづくり交流会」を2回開催しました。第1回は、「地域の支え合い活動のいいところ自慢で盛り上がり」をテーマにグループワークを、第2回は、各校区の1年間の活動報告と、意見交換会を行いました。



第1回

多世代交流の場を、今後もっと大切にしていきたい。

LINEを活用した情報共有を、取り入れていきたい。



第2回

生津

令和5年2月に生津校区見守り隊が発足し、令和6年2月現在で78名が活動しています。定期的に情報交換会を開催し、活動中の気づきや課題などを共有しています。そこでの意見から、活動に必要な情報をスマホで受け取ることができるよう、12月にスマホ教室を開催しました。スマホ操作に詳しい住民のかたを中心に、教え合いました。



情報交換会

地図を見ながら、情報を共有します。

教え合うことで、お互いに交流が深まります。



スマホ教室

本田

「ほんでん福祉委員会」が中心となり、様々な福祉活動を企画、検討しています。当日の応援が必要な活動については、地域住民で組織された「ほんでん福祉応援隊」のメンバーが支える仕組みで実施されています。令和5年度は、住民勉強会や本田小学校が福祉共育として実施する、福祉施設訪問の支援などを行ってきました。本田見守り隊やほんでん福祉応援隊の協力のもと、交通安全確認を行い、当日も安全に実施することができました。



住民勉強会

寸劇で、詐欺防止や支え合いを学びました。

住民のかたの見守りで、安全に訪問ができました。



施設訪問

穂積

ボランティア、民生委員・児童委員、自治会関係者、福祉関係者等の皆さんで、『わくわく活動委員会 福祉部会 福祉小委員会』として、福祉のまちづくりが行われてきました。その福祉のまちづくりを継承しながら、より住民生活に身近な地域福祉、その活動の推進に向け、令和5年10月に地区社会福祉協議会として生まれ変わりました。校区の皆さんと一緒に考え、様々な活動が行われています。

地区社会福祉協議会による活動



校区内のふれあい・いきいきサロン交流会



柳一色ふれあいサロンの見学会



わくわく新聞の発行

牛牧

地域福祉活動が発展していくためには、ボランティアのかたの協力は欠くことができません。今後、どのような活動を展開していくことができるのか、地域住民が共に考える場として、「第4回 牛牧校区地域支え合い推進会議」を開催しました。ボランティアのかたを中心に集まっていたいただき、地域の活動者の話を聞いた後、グループワークを行いました。



グループワーク

参加者が、やがてボランティアへつながることも。今後へつなげることが大切。



グループワーク後の発表

自治会やサロンなど、相互に協力し合うことが大切。

西

地域のつながり作りの1つとして、集いの場の活動を進めてきました。令和5年度内に3つの集いの場が誕生しました。また、10月には可児市平牧地区へ支え合い活動の視察に出かけ、熱心に活動している地域のかたたちから、知識と情熱をいただく機会となりました。



可児市への視察研修



新月、上唐栗、田之上で新設された集いの場

本会では、福祉作業所を2カ所運営しています。

福祉作業所（多機能型）とは、障害者総合支援法に規定されている主に通所による就労や生活上の支援を行う障がい福祉サービスです。



花飾りと音楽で一年の締めくくり!



仕事納めの12月28日、朝からお花の先生をお招きし、お正月の花飾りの制作を行いました。見本を見ながら見よう見まねで、手際よく進めていく利用者もいれば、悪戦苦闘する利用者、笑顔をふりまきながら職員と一緒に制作したり、それぞれ個性あふれる花飾りが出来ました。午後からは、音楽療法の先生のピアノコンサートと、利用者の皆さんと一緒にピアノのセッションをしました。一年の締めくくりにあふさわしい、最高の笑顔でした。



夢が広がる「新製品」

私たちは、自主製品を商品として販売しています。手に取っていただけるような、魅力的な製品作りを日頃から心がけています。その中でも新製品の開発には試行錯誤して、改善・改良を重ねています。買っていただいたお客様に喜んでいただける、そんな夢と希望、そして自信を持って製品を送り出しています。製品作りには、利用者さんが得意な工程もあれば苦手な工程もありますが、精一杯の気持ちを込めて、日々取り組んでいます。



♪腕まくりをしてがんばってます

「ミナモ」バッグ



♪新製品
「ミナモ」バッグ

ご興味のあるかたは、お問い合わせください。
TEL 328-7187

豊住園、すみれの家では、様々な商品を作り販売しています。販売商品の詳細につきましては、本会のホームページ (<https://www.mizuho-shakyo.org>) にカタログを掲載しておりますので、ご覧いただくか、各作業所までお問い合わせください。

こちらから
カタログが
見られます→



地域包括支援センターだより



瑞穂市別府1283番地(ココロかさなるCCNセンター(総合センター)1階) TEL 327-4118



くつろぎカフェに行こう！ 介護予防カフェで『健康づくり』



瑞穂市福祉サポートセンター
03040

「くつろぎカフェ」という介護予防カフェを市内4か所で開催しています。

場 所	古橋北公民館	駅 西 会 館	本田コミュニティセンター	牛牧南部コミュニティセンターつどいの泉	
曜 日	第2火曜日	第2木曜日	第3水曜日	第4木曜日	
時 間	9時30分～11時	9時30分～11時30分	10時～11時30分	9時30分～11時30分	
令和6年	4月	9日(火)	11日(木)	17日(水)	25日(木)
	5月	14日(火)	9日(木)	15日(水)	23日(木)
	6月	11日(火)	13日(木)	19日(水)	27日(木)
	7月	9日(火)	11日(木)	17日(水)	25日(木)
	8月	13日(火)	8日(木)	21日(水)	22日(木)
	9月	10日(火)	12日(木)	18日(水)	26日(木)
	10月	8日(火)	10日(木)	16日(水)	24日(木)
	11月	12日(火)	14日(木)	20日(水)	28日(木)
	12月	10日(火)	12日(木)	18日(水)	26日(木)
令和7年	1月	14日(火)	9日(木)	15日(水)	23日(木)
	2月	11日(火・祝)	13日(木)	19日(水)	27日(木)
	3月	11日(火)	13日(木)	19日(水)	27日(木)

- 内 容：健康体操、介護予防レクリエーション など
- 参加費：100円
- 対象者：どなたでも参加可能（予約不要）
- 主 催：みずほ生き生きサポーターくつろぎ隊
- 後 援：瑞穂市地域包括支援センター



令和6年度 市民のための認知症勉強会 認知症サポーター養成講座開催のお知らせ

- 日 時：5月25日(土) 13時30分～15時 (受付：13時15分～)
- 会 場：ココロかさなるCCNセンター (総合センター)
1階 地域福祉ルーム

※事前予約制となっております。地域包括支援センターに、5月17日(金)までにお問い合わせください。

【申込み先】瑞穂市地域包括支援センター

TEL327-4118/FAX327-5304 メールhoukatsu@mizuho-shakyo.org

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者になりませんか？ぜひご参加ください。



瑞穂市地域包括支援センターは、もとす広域連合から本会に委託されている事業です。



－「共に生きる力」を育む－

本会では、市内の小中学校及び大学において、「共に生きる力を育む福祉共育（体験・学習）」を実施しています。

令和5年度は、牛牧小学校、中小学校で、それぞれ6年生を対象に実施しました。

牛牧小学校

「地域で共に生き、暮らしていくために、多様性を認め合い、支え合って暮らす地域づくり」について、学びました。

多様性について学ぶと共に、地域で高齢者に関わっている人や地域活動をしている人から話を聞き、地域住民が抱える問題を知りました。そして、児童が地域の一員としてできる身近なことについて考え、実践しました。



自分達ができる身近なことを考え中

児童が実践したこと・感想

- ・あいさつをしたら、返してくれて嬉しかった。続けていきたい。
- ・犬の散歩の時に雑談をしようとしたが、何を話して良いのか、分からなかった。でも、笑顔で返してくれた。
- ・回覧板を届けた時に、お礼を言われて嬉しかった。
- ・地域のサロンなど集まりに参加し、地域の人と一緒に遊ぶことができた。

「支え合い助け合いの地域づくり」を進めていくためには、まずは地域の人たちに関心を持ち、お互いを知ることから始まります。そのためには、あいさつをする、地域の行事に参加して顔見知りになることが、大切です。

中小学校

「誰もが、いつまでも安心して暮らせる地域づくりのために、わたしたちにできること」というテーマで行いました。地域とのつながりを持ち、自分たちが地域の中でどんなことができるかを考えました。あたたかい地域の人たちとふれあう中で、自分たちも地域の一員であることを実感しました。地域の人たちも福祉について、子どもたちと共に考えるきっかけになり、子どもも大人も、地域のことについて真剣に考えている姿が見られました。



①



②



③



④



⑤

- ①高齢者について学習（巣南リハビリセンター様）
- ②高齢者疑似体験
- ③自治会長による地域の支え合いのお話
- ④美江寺ふれあいサロンと交流
- ⑤地域交流活動 地域の人とお話すると、あたたかい気持ちになりました。

ふくし “ホット” ニュース

市内の ふれあい・いきいきサロン活動

ふれあい・いきいきサロンは、市内に34か所あり、地域の皆さんが、身近な場所で気軽に集まり、おしゃべり等で仲間と楽しく過ごせる「地域の交流の場・仲間づくりの場・居場所」です。本紙では、ふれあい・いきいきサロンの活動を、紹介していきます。

ふれあいいきいきあじさいサロン

【開催日時】 毎月第3土曜日 10時～
【開催場所】 別府北町公民館



いつも集まると、自然と話が弾む、和気あいあいとした雰囲気を楽しんでいます。写真は、おはなしの会なずびの皆さんと一緒に、懐かしのマジカルバナを楽しんでいるようすです。

下唐栗ふれあいサロン

【開催日時】 毎月第1金曜日 9時30分～
【開催場所】 下唐栗公民館



地域の高齢者が元気に過ごせるよう、介護予防体操を必ず行っています。夏休みには、子ども会と協力して、多世代交流会を開催しました。これからも、地域の人たちの交流の場として、様々な取り組みをしていきます。

【お問い合わせ先】 瑞穂市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 327-8610 / FAX 327-5323
メール chiiki@mizuho-shakyo.org

ふれあい・いきいきサロンは、皆さんからいただいた社会福祉協議会会費・赤い羽根共同募金配分金を活用しています。

令和5年度支え合いのまちづくり講演会

1月11日、瑞穂大学健康学部と合同で開催しました。

mottoひょうご事務局長の栗木 剛氏を講師にお招きし、「みんなつながれ！多世代交流のヒント」と題して、多世代交流のヒントが、普段の何気ない暮らしの中にあるということをお話しいただきました。

講演の中で、好奇心を持って外に出ることが大切という話がありました。外出して新しいことや、興味を持つことに触れて、それを共有することが、多世代とつながる一歩になります。

皆さんも、好奇心を持って外出することから、多世代交流を始めませんか。



栗木 剛氏

ご近所たすけあいボランティア講座

高齢者のかたなどの日常生活上の、ちょっとした困りごとをお手伝いし、地域生活を支える仕組みづくり、またそのボランティアの養成を目的として、ご近所助け合いボランティア講座（生活支援ボランティア養成講座）が開催されました。

講座では、生活支援ボランティアが求められる背景、障がい者や高齢者と接する際に配慮する点や、傾聴の実践などを学びました。その後、市内でボランティア活動をされているかたから、活動の様子や、活動を通して気づいたことをお話しいただきました。講座の受講後に、生活支援ボランティア団体の活動見学や体験が予定されています。

生活支援ボランティアに興味のあるかたは、本会までお問い合わせください。



講座のようす



心温まるご寄付をありがとうございます (順不同・敬称略)

令和5年度社会福祉協議会会費

<一般会費>

一般会費	709世帯	709口	709,000円
(令和5年12月11日～令和6年2月15日)			

<賛助会費>

(有)サウンドステージサービス	2口
ほづみ整形外科	1口
1口 5,000円(令和5年12月11日～令和6年2月15日)	

善意のご寄付

匿名(12月25日)	菓子	
匿名(1月5日)	菓子	
みずほオヤジの会	大根	
(有)森田組		300,000円
(令和5年12月25日～令和6年1月15日)		

みずほドライブネットワーク

蓮見 英介	玄米
(1月30日)	

令和5年度赤い羽根共同募金運動

(令和5年1月1日～令和6年1月30日)

<法人募金>

・みずほクリニック ・伊藤園 (赤い羽根自動販売機)

<戸別募金>

・穂南自治会

令和6年能登半島地震災害義援金

<石川県>

(1月5日～2月28日)

匿名(1月15日)	10,000円
いなほの会 初笑い参加者一同	15,050円
吉田 治夫	100,000円
匿名(1月23日)	1,000円
匿名(1月30日)	30,000円
西川原自治会	50,000円
(特非) いなほの会	7,137円
(医)清光会	
地域交流施設 清流ぶらす	24,430円
匿名(2月26日)	10,000円
窓口	28,299円

<富山県被災者支援分>

窓口	23,587円
----	---------

<福井県被災者支援分>

窓口	23,586円
----	---------

<新潟県被災者支援分>

窓口	23,586円
----	---------

福岡県令和5年7月豪雨災害義援金

窓口	1,004円
----	--------

(令和5年10月1日～令和6年1月30日)

ホリパパサロン

参加費
不要

「ホリデーパパサロン」の略称です。
お休みの日に、お子さんと一緒に遊ぶ時間をつくってみませんか？

- ▼日時 5月11日(土)
10時30分～11時40分 (受付: 10時～)
- ▼会場 牛牧北部防災コミュニティセンター 集会室 (十九条413-1)
- ▼内容 英語ふれあい遊び
- ▼講師 Join us 横山 悦子氏
- ▼対象 市内在住の3歳以下のお子さんとお父さん(ご兄弟、お母さん、祖父母のかた等の参加も可)
- ▼定員 20組の親子(先着順)
- ▼申込み 4月1日(月)より受付
- ▼当日の連絡先 070-4104-4355

本サロンは、赤い羽根共同募金の配分金により実施します。

あい♥愛マーケットのお知らせ

あい♥愛マーケットとは？

市内の福祉作業所「豊住園」、「すみれの家」の利用者が、手作り製品を販売しています。

開催場所

ココロかさなるCCNセンター
(総合センター) 1階 アトリウム

開催時間

12時30分～13時30分

※開催日は、豊住園、すみれの家から、1施設が販売します。



豊住園
かぎりん
クッキー

すみれの家▶
パウンドケーキ

令和6年度 開催予定日
(瑞穂大学と合同で開催)

4月	18日
5月	9日、23日
6月	6日
7月	4日、18日
8月	7日
9月	5日、19日
10月	3日
11月	7日、21日
12月	5日
1月	16日
2月	20日
3月	13日

(令和6年2月現在)

日程は、変更になる場合があります。市の広報カレンダーで、ご確認ください。

～ あおぞら会 入会へのおさそい ～

年会費
500円

あおぞら会とは・・・

瑞穂市の知的障がい者及び精神障がい者とその家族の会です。

会の主な目的は、

- ①会員相互の交流と親睦を図る。
- ②会員の思いや総意を行政機関と、関係団体に届ける。
- ③他の団体と交流を深め、障がい者家族の思いを共有する。

会では、一年を通して役員会を開き、障がいと共に歩まれているかたや、そのかたを支え寄り添う家族の今後の在り方について、話し合いを重ねています。また、施設見学会やイベント開催の計画を立てて、勉強会やクリスマス会を行ってきました。

会に参加して、悩みや困りごとの解決に向けた活動をしてみませんか。そして、より良い将来へと、あなたの思いを伝える場所の一つにしてみませんか。

ご参加をお待ちしております。

連絡先① 会長 TEL 090-1986-2352
メール ako1216hk@gmail.com

連絡先② 瑞穂市社会福祉協議会
※受付した内容を、あおぞら会へお伝えします。

TEL 327-8610
メール info@mizuho-shakyo.org



【申込み方法】

- ホームページ
URL <https://aozora-mizuho.com>
- 申込み用紙
ココロかさなるCCNセンター内
瑞穂市社会福祉協議会



ホームページ

家族による「家族学習会」

岐阜市あけぼの会（精神障がい者家族会）主催

参加費
不要

統合失調症など、精神疾患の学習会を開催します。

精神障がい者の家族が抱える悩み、不安や病気・症状などの理解を深めます。

<日 時> 5月12日（日）、5月26日（日）、6月9日（日）、6月23日（日）、7月7日（日）
13時30分～16時30分

<場 所> 岐阜市市橋コミュニティセンター（岐阜市市橋6丁目13-25）

<対 象> 統合失調症などの精神疾患を持つご家族

<申込み> 4月30日（火）までに下記へ

TEL/FAX 058-271-8169 担当：山中・熊谷



🍎 食品の寄付をお願いします 🍌

「もったいない」の心を困っている人の支援に結び付けていく活動として、「食品ロス」になってしまう食品を寄付していただき、子ども・若者の居場所づくり活動や、生活に困っているかたに提供するフードドライブの取り組みを行っております。寄付をお考えの企業、農業経営者、個人のかたは、下記までお気軽にお問い合わせください。

<お問い合わせ>

TEL 322-8668

メール soudan@mizuho-shakyo.org

～ 私たちも地域福祉活動を 応援しています～

SAFETY CULTURE

DNG

安心と安全のネットワーク

大日本警備保障株式会社

大規模ビルシステムから、
ホームセキュリティまで
みなさまの安心と安全
をお守りします



本 社 / 瑞穂市本田379-1 TEL 058-327-5171

URL <http://dainihonkeibi.co.jp/>

レクリエーション等の備品を貸し出します！

ふれあい・いきいきサロンや子ども会の行事等での楽しいレクリエーションなど、地域のかたどうしの交流、つながりづくり活動にぜひご活用ください。



人気の備品

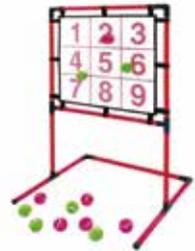
スカットボール



ゲートボールと同様のスティックを使って、的となる台の穴にボールを入れるスポーツです。

穴の特殊なカーブがハラハラドキドキのゲームを演出します。(1セット)

マジックナイン



的当てゲームを省スペースで行うことができます。マジックシートのため、パネルが散乱しない作りになっていて安全です。楽しみながら、身体を動かすことができます。(1セット)

新しい備品

トレーニングチューブ



色で負荷の異なる5本のチューブを使って、様々な全身運動ができます。初心者や体力に自信がなくても、気軽に行えます。使用方法のマニュアルがついています。(4セット)

マンカラ・カラハファミリー



子どもから大人まで夢中になる脳トレ・ボードゲームで、どの石を動かすかによって勝負の行方が大きく変わります。ボードを組み合わせ、4人まで同時に遊べます。(5セット)

他にも楽しめる備品がたくさんあります♪

貸し出しについて

- 対象者 市内で地域福祉に貢献する活動等がされているかた
- 貸出期間 7日間
- 使用料 無料
- お問い合わせ先 瑞穂市社会福祉協議会本部 (TEL 327-8610) または 巢南支部 (TEL 328-5174)

※本会ホームページにパンフレット、申請書類を掲載しています。
※事前に電話でお問い合わせいただければ、メールでの申請も可能です。
巢南支部 (sunami@mizuho-shakyo.org) へ送信してください。

●本事業は、赤い羽根共同募金の配分金により実施しています。



詳しくはこちら

瑞穂市社協

本紙に掲載している講座等の申込みで得た個人情報は、講座等の運営管理の目的以外には使用しません。



地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。